

国民民主党解党に伴うご報告

平素より活動にご理解とご協力を下さり有難うございます。

さて、所属する国民民主党の解党に伴い、まずは、無所属議員として活動を進めていく判断を致しました。

—経過—

- 国民民主党と立憲民主党は、合流に向け協議をして参りました。そして、両党解党のうえ、両党所属議員及び無所属議員が入党する新党を立ち上げることになりました。
- しかしながら、国民民主党は、合流新党である立憲民主党に加わる議員、加わらない議員による新党の国民民主党、無所属になる議員、との3つに分かれることになりました。
- 国民民主党所属の地方自治体議員も、上記を基にいずれかの判断をすることとなりました。

そのうえで、

- ① きちんとした合流協議が整わなかったこと
- ② 現時点では、両新党の方向性について見極めが難しいこと

以上のことから、まずはいずれの党にも入党せず、無所属の立場で政治活動を進めていくことと致しました。

なお、区議会における会派については、協力出来る会派との連携や合流を図って参ります。

皆様におかれましては、何卒ご理解頂き、これまで同様にご支援賜りますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の収束もみえない状況です、どうぞご自愛下さい。

令和2年10月吉日

荒川区議会議員

清水啓史